

3月21日(木・祝) 卒業式挙行(岐阜市・長良川国際会議場)

特集③

地域に貢献する大学 — 地域との連携 —

特集②

本学のキリスト教教育

特集①

春の巣立ち 卒業生座談会 — キャンパスライフの思い出を振り返る —





地域の皆さんと交流を深めた「たのしみん祭」と「大学祭」=関キャンパス



学生が主体となり、いろいろなイベントを企画した学びの森フェスティバル
=各務原キャンパス、学びの森



表紙/鶴匠の足立陽一部さんが鶴飼の様子を関キャンパスで実演

中部学院大学報
2019 vol. 41
2019年3月発行

Chubu Gakuin
University & College News
CONTENTS
〈発行:大学報編集委員会〉

2018年度(後期) EVENT CALENDAR



プロムナードコンサートでは、教育学部子ども教育学科の学生が合唱やマリリンバの演奏を、短期大学部幼児教育学科の学生がハンドベルやパフォーマンスを発表しました=各務原市民会館



介護の日を前に、人間福祉学部と短期大学部社会福祉学科の学生が、介護をしている人にバラの花を贈り、啓発活動を行いました=学びの森ほか



特集① 06 春の巣立ち 卒業生座談会

特集② 08 本学のキリスト教教育

特集③ 10 地域に貢献する大学 —地域との連携—

04 恩師からのメッセージ

12 部・クラブ・サークル紹介

<ピックアップ> 剣道部
学長賞、同窓会長賞など受賞者一覧

14 トピックス

教育フォーラム開催、卒業生キャリアフォーラム開催 ほか

15 講演会

市民公開講座 シティカレッジ各務原特別講演会 ほか

「福祉」を学んだ皆さんへ

人間福祉学部長 飯尾 良英

平成から新しい時代の幕開けと共に大空へ羽ばたかれる皆さん、ご卒業おめでとうございます。豊かで明るい未来が開かれることを祈念するとともに、皆さんのご活躍に期待しています。皆さんの学位記には、社会福祉学を修め学士を授与されたことが証されています。「福祉を学んだ」ことを自分の礎にしてくれるととても嬉しいです。「福祉」は、全ての人を理解し受け入れること、そして人のために役に立つこと、社会の発展に寄与することです。そのような優しく強い心をいつまでも持ち続けてください。福祉専門職の道を進む人も、別の道を進む人も、皆さんが福祉で学んだことを人生の指針にしてください。



夢と志を持って

教育学部長 宮本 正一

ご卒業おめでとうございます。皆さんは教育学部の第1期卒業生です。よく学び、よく遊び、精一杯青春を楽しんだ中部学院大学での四年間でした。皆さんは素敵なお人柄を持った素晴らしい人たちです。自分の良さを自覚し、学生生活で学んだことをぜひ仕事に活かして下さい。自分を信じ、優しさを忘れず、一隅を照らす存在になって下さい。健闘を祈ります。



「自分だからこそその力」を伸ばそう

社会福祉学科長 吉川 杉生

ご卒業おめでとうございます。社会福祉学科には、介護福祉と美・デザインの2つのコースがあります。学ぶ内容や方法は異なりますが、人の人生に向き合い、笑顔や安心をつくる力を身につけるといって共通の土台を持っています。普段の生活や短大での学習で経験したように、知識や技術は常に変化しています。また、人を相手にする仕事では、決められた方法が誰に対しても通用するとは限らない困難があります。ですから、卒業はそれに向き合う新しいスタートです。もう一度、短期大学2年間で得たものを振り返り、「自分だからこそその力」は何かを是非確かめてください。それが自分の原点になるはず。自分の強みが必ずあります。その力をさらに伸ばしてほしいと期待しています。



常に新しい知識、技術を吸収し成長してください

看護リハビリテーション学部長 三上 章允

ご卒業おめでとうございます。国家試験も終了し、理学療法士、看護師を目指してきた諸君の夢がまもなく実現します。これからが本番です。患者さん一人一人と向き合い、良き医療スタッフとして今後も知識を積み重ね、技術を磨いてほしいと思います。まもなく後輩たちの実習を指導する立場にもなるでしょう。後に続く後輩たちのためにも、患者さんからも仲間からも信頼される医療スタッフとして成長してください。



志は氣の師也

経営学部長 今井 春昭

このたびご卒業を迎えられた皆様に心からお祝いを申し上げます。おめでとう！経営学部の皆さんは、文武のあらゆる場面で個性を十分に発揮するとともに、抜群の戦略・戦術を以て校旗を雄々しく全国にはためかせ、新しい伝統を創ってくれました。諸君と共にこの学園で学べたことを生涯の誇りにしたいと思います。ありがとう！高い「志」を持ち続ける限り、「気力」は漲ります。餞に孟子のこの言葉を贈ります。



巣立ちに寄せて

幼児教育学科長 白幡 久美子

ご卒業 おめでとうございます。保育園・幼稚園、小学校、中学校、高等学校と、何度も卒業式を経験してきたことでしょう。しかし、大学の卒業はこれまでの卒業とは異なります。学校という守られた場から独立して、実社会へ出るようになるからです。これから皆さんは社会人として貢献することになります。それぞれの職場で、責任ある行動と誠意ある仕事を成して「なくてはならぬ存在」になるよう願っています。幅広い分野でのご活躍を期待しています。



3月20日(水)
卒業礼拝 10:00～ 関キャンパス
3月21日(木・祝)
卒業式 10:00～ 長良川国際会議場
卒業謝恩パーティー 12:45～ 岐阜都ホテル

恩師からのメッセージ

目標を持って新元号の年を迎えよう！

大学学長 古田 善伯

卒業おめでとうございます。今年は5月1日に平成から新しい元号へと移行する記念すべき年になるとともに、将来も記憶に残る年になると思います。日本にとってはとても嬉しい年であるといえます。一方で、最近の世界情勢や日本の社会情勢において、予測しがたい事態が生じたり、また社会変革のスピードが速くなっています。そのため、卒業される皆さんは、これから起ころうとする社会の変化に対応し、適応していく能力が求められてくると思われれます。新元号の社会では、多種多様な多量な情報が氾濫し、中にはフェイク情報も含まれてきます。そういう情報社会の中で生き抜いていくためには、自分という存在、立ち位置を確実に保持し、真の情報を取得して、目標に向かって自分の進むべき道を一步一步着実に進むことが大切だと思います。自分を信じて目標に向かって進んでください。きっと、未来が開けると思います。



「笑顔と挨拶」を携えて

短期大学部学長 片桐 多恵子

いよいよ大海原へ船出です。人生航路の必需品は「笑顔と挨拶」です。笑顔と挨拶の効用は、陽光のような温かさで人々を心地よくすることですが、相手だけでなく自分自身にも良い効果があることが科学的に分かってきました。口角を上げて笑顔の表情を作るだけで、楽しく感ずる力が増すことが脳回路レベルで証明されるようになってきました。例えば割りばしを縦にくわえて漫画を読む時より、横にくわえて口角が上がった時の方が面白さを感じる度合いが増す実験結果が出ています。挨拶も同じで、相手だけでなく挨拶をする自分自身も元気になります。本学のトレードマークである「笑顔と挨拶」は人間だけに与えられた特権ですが、その特権は自分も相手も人間として楽しく幸せになるために与えられたのでしよう。「笑顔と挨拶」を携えて、楽しく社会に貢献してください。



輝く未来へ

副学長 片桐 史恵

ご卒業おめでとうございます。志を高く持ち、たゆまぬ努力をして迎えた今日の日です。成長の証である、この卒業の時、中部学院大学・中部学院大学短期大学の標語「生きる、を学ぶ」を思い出してください。自分らしく生きる、人と生きる、子どもと生きる、地域と生きる、生きるを支えるなど、様々な生きるを学び探究してきた皆さんです。是非、卒業後も「生きる」を探究し続けてください。全ての人に、この世で果たす役割が与えられていると思っています。その役割を果たすために懸命に励み精進し続けてください。そして自分に誇りを持ちこれからの人生を歩んでくれる事を心から願っています。さあ、飛躍の時！輝く未来へのファーストステップに祈りをこめて。



特集 ①

卒業生座談会

4年間、2年間の大学生活を終え、この春、社会に飛び立つ卒業生の皆さん。大学時代の思い出や就職に向けての抱負、後輩の皆さんへのメッセージを語り合ってもらいました。

●卒業生座談会 参加者（写真左から）

人間福祉学部 人間福祉学科

豊島 里奈さん（とよしま・りな） 社会福祉士・精神保健福祉士（社会福祉協議会）

経営学部 経営学科

辻 正さん（つじ・ただし） 営業職（自動車販売業）

教育学部 子ども教育学科

高木 実紗希さん（たかぎ・みさき） 教員（小学校）

短期大学部 社会福祉学科（美・デザインコース）

高橋 萌里さん（たかはし・もえり） 事務職（医療福祉系財団法人）

看護リハビリテーション学部 看護学科

浅田 菜々さん（あさだ・なな） 看護師・保健師（病院）

看護リハビリテーション学部 理学療法学科

高木 元輝さん（たかぎ・げんき） 理学療法士（病院）

短期大学部 幼児教育学科

細江 優太さん（ほそえ・ゆうた） 保育士（公立保育園）



「今できることは何か」を考えて行動 キャンパスライフと勉強を両立

— 大学生活を振り返って、頑張ってきたことや印象に残っていることは。

豊島 2年生の時に、先輩や友人と共に、学習支援サークル「Change」を立ち上げました。「今の私たちにできることは何か」を考え、行動に移しました。また、アルバイトと勉強の両立も図り、レクリエーション介護士や行動心理士などいろいろな資格も取りました。

高木実 勉強と部活動を両立しました。勉強では教員採用試験に向けて、友達と教え合ったり、先生の研究室にも通ったりしました。バスケットボールでは、私も「自分にできることは何か」を考えて行動してきました。目標だった1部昇格を果たせて満足しています。

辻 大学祭実行委員として、ゲスト出演の手配をはじめ、ステージ発表や出店の募集、ポスター作りなど、いろいろなことを経験しました。特に出店に関しては、保健所に提出する書類を作成したり、電気の配線を管理したり、要望に応えられるように努めました。

細江 日ごろの授業を真剣に取り組みました。現場で働いていた先生方も多く、必要な知識が身に付きました。現場の実習では、子どもたちと一緒に過ごす時間がとても楽しく、子どもの成長や笑顔を間近で一緒に感じる事ができて、貴重な経験となりました。

高橋 医療事務の資格試験に受かるための勉強に力を入れてきました。学内では先生方が優しく丁寧に教えてくださいました。自宅では復習を徹底しました。授業では、ネイルの時間が印象に残っています。ジェルネイルなどの検定試験にも合格して自信が付ききました。

高木元 理学療法学科は3年生になると、実習前に「OSCE(オスキー)」という実技試験があり、合格できないと実習に参加できません。ゼミの仲間と検査方法を確認したり、分からないところを解決したり、全員が一丸となって取り組み、合格できたのが思い出です。

浅田 臨床での実習が印象に残っています。座学だけでは気づくことのできないことがたくさんあり、毎日必死でしたが、患者さんと関わりながら、「どうしたら良い看護ができるのか」を考えながら実践していく中で、看護師の道を歩んでいくことに期待を感じました。

責任感を持ちながら社会に貢献したい 信頼関係を築き、自己研さんに励みたい

— 就職に向けての抱負は。

高木実 小学校の教員として4月から教壇に立ちます。目指す姿は「子どもから信頼される教師」です。元気さと明るさで子どもたち一人一人としっかり向き合い、良いことだけでなく、良くないことも良くないと伝えていきながら、信頼関係を築きしていきたいです。

細江 公立保育園で勤務します。子どもたちが安全に楽しく過ごせるような保育を実践していきたいと思っています。「子どもの話を聞く」「気持ちを理解する」という姿勢と共に、あいさつや礼儀を大切に、保護者や地域の方から信頼される保育士になりたいです。

辻 自動車販売業の仕事は、お客様とのコミュニケーションが大切になります。お客様にとって車を購入することは大きな決断になります。ご希望にできるかぎり応えたいです。購入後もお客様に寄り添い、快適な車生活が過ごせるような提案をしていきたいです。

豊島 地元を離れ、三重県の社会福祉協議会で勤務し

ます。初めての地域ですが、「知らないのを教えてください」というスタンスで住民の方と関わりながら、信頼関係を築き、「この人なら話してもいい」と感じていただけるように自己研さんに励んでいきたいです。

高橋 医療福祉系の財団法人で医療事務の職に就きます。仕事を覚えることや物事を早くこなすことが苦手なので、職場の先輩方の動きをよく見ながら、「自分がすべきことは何か」という自分の果たすべき役割をしっかりと考えて行動できるようにしていきたいです。

浅田 看護師の仕事は、自分の知識や技術が、そのまま患者さんの命につながります。就職後も日々勉強を欠かさず、着実に力を付けていきたいです。患者さんのちょっとした変化も気づけ、人として相手を思いやる気持ちを忘れない看護師を目指したいです。

高木元 医療従事者は患者の未来を決める大事な仕事であるため、社会の一員として、責任感を持ちながら、病院に貢献できるように精一杯頑張りたいと思います。どのような事柄にも恐れず、チャレンジする気持ちを持ち続け、自分自身を高めていきたいです。

最後まであきらめず、努力の継続を— 当たり前の行動を習慣づける努力を—

— 後輩に向けてのメッセージを。

浅田 看護学科は1年生から4年生まで、授業や実習に追われます。つらくなることもたくさんあると思いますが、そんな時でも精いっぱいやり切ることができれば、後々自分の成長につながっていきます。同じ目標に向かって支え合っている仲間と頑張ってください。

高木元 仲間を作り全力で取り組めば、経験が自信につながります。サークルやボランティア、学生会などにチャレンジしてきましたが、中部学院には挑戦する場がたくさんあります。一生付き合える仲間と経験を重ね、充実した学生生活になることを願っています。

高木実 中部学院には、自分が頑張ろうとしている目標や夢を応援してくれる先生方や仲間がたくさんいると思っています。自分にやりたいことに取り組める環境が整っています。4年間はあっという間ですが、一生懸命取り組みながら、充実した時間を過ごしてください。

細江 公立の保育園、幼稚園を目指している方は、早めに試験勉強に取り組むことをおすすめします。一方で、楽しめるのは学生時代の今しかありません。青春とは一瞬のキラメキなので、勉強と遊ぶ時間のメリハリを付けて、1日1日を大切に過ごしてください。

高橋 何事も継続することが大切だと思っています。取りたいという資格があれば、目標に向かって頑張りたいです。私も資格試験に何度も挑戦して合格をつかみました。資格が取れなかったとしても、あきらめず努力を継続していけば、必ず報われると思います。

豊島 「語先後礼」「先を見据えて予定を立て、計画的に動く」など当たり前の行動を習慣づけることが良いと思います。また、社会福祉士と精神保健福祉士の実習は利用者の皆さんや職員の方々の生の声が聞ける貴重な機会なので、多くのことを学び取ってほしいです。

辻 大学は就職に向けての貴重な時間です。将来の職業を思い描いて学部を選んだ皆さんが多いと思いますが、少し視野を広げることも大切だと思っています。卒業してからの人生のほうが長くなります。大学生活も楽しみながら、悔いのない時間を過ごしてください。

◇キリスト教科目

全学必修の「キリスト教概論Ⅰ」のほか、選択科目として、「キリスト教概論Ⅱ」「キリスト教保育」「キリスト教音楽」「キリスト教文化」「キリスト教福祉論(通信教育部)」があります。大学には「宗教と人間」なども開講しており、世界のさまざまな宗教について学べます。

◇チャペル活動

チャペルアワーは、関・グレースホール(月曜・木曜の午前10時45分～11時5分)と各務原・グロリアホール(木曜の同時刻)で行われ、聖書からメッセージが説かれています。年に数回、音楽礼拝もあります。



◇キリスト教行事

ランチタイムコンサート

年数回、昼休みの時間を利用して、関キャンパスのグロリアホールで開催しています。学内外の先生方によるパイプオルガンやグランドピアノ、マリンバなどの演奏が行われ、優しい音色がホールに響き渡ります。



宗教講演会

全学を対象として前期に毎年開催しています。今年度は同志社大学神学部教授の関谷直人先生をお招きしました。「ワーシップミュージックへの誘い」と題し、讃美歌の歴史から現代の新しいジャンルなどを紹介されました。



クリスマス礼拝

イエスの生誕物語をたどりながら、教職員・学生による多言語聖書朗読、聖歌隊による合唱賛美、パイプオルガン演奏、ゲストスピーカーによるメッセージ、附属桐が丘幼稚園によるクリスマス・キャロルなどが行われます。



卒業礼拝

キリスト教学校の礼拝としては、歴史的に重視されている礼拝の一つ。卒業式を挙げる前日、関キャンパスで開催しています。卒業生は聖書からの励ましのメッセージを受け、懐かしんだ学び舎を後にします。



【各務原キャンパス】⑥グロリアホールは、チャペルのほか、授業やシティカレッジの講座でも利用されています ⑦グロリアホールにあるステンドグラス「新生」 ⑧卒業生の記念品「ポジティブオルガン」 ⑨職人から寄贈された北棟2階ロビーに設置されているチェンバロ

建学の精神

中部学院大学・同短期大学部を運営する学校法人岐阜済美学院の基礎は、1918年(大正7)片桐龍子先生により、女性の自立のための教育を目的として置かれたことに始まります。後継者でキリスト者だった片桐孝先生の志により、第二次世界大戦直後、キリスト教主義学校になりました。建学の精神は、旧約聖書「箴言」1章7節に基づいて定められました。



「神を畏れる」とは、愛と義と公平を求める神の意志を尊重すること。そこからはじまる「知識」とは、技術的知性に加え、真に生かす叡知的理性を指します。

また、隣人愛に生きることを促し、正義、自由、平和を祈り求める「知識」のことも示しています。本学のキャッチフレーズ「生きる、を学ぶ」は建学の精神を具現化しました。

パイプオルガン(関) ②

フランスの著名なオルガンビルダーであるガニエル社に製作を依頼した音の芸術品。様式はドイツバロック様式。手鍵盤2段、足鍵盤1段、ストップ数23、パイプ数1437本で、流れ星や鳥のさえずりの音を奏でる仕掛けもあります。製作は3年の歳月をかけ、2005年に完成し、奉獻されました。

ポジティブオルガン(各務原) ⑧

ガルニエ社製で、パイプを収めた本体には頑丈なナラ材が用いられ、菩提樹を彫刻して金箔が施されています。

チェンバロ(各務原) ⑦

各務原市の職人が1人で4年の歳月をかけて製作したもの。フランドル様式(フレミッシュ)で、2段の鍵盤、3種類の弦を備え、バロック時代の音律に合わせてチューニングすることができます。

クリスマス・イルミネーション ③

クリスマス礼拝前の4週間を「アドベント(待降節)」として、学生会などが中心となり、キャンパスはさまざまなオーナメントやイルミネーションが施されます。また、かつては帰宅途中に交通事故で亡くなった学生を追悼し、仲間の友情を伝えるイルミネーションも行われました。



【関キャンパス】①グレースホールの東壁にあるステンドグラス「光あれ」 ②美しい音色を奏でるグレースホールのパイプオルガン ③毎年行われているクリスマス・イルミネーション ④本館東壁にあるレリーフには「1羽のふくろう」が見守っています

特集② 本学のキリスト教教育

神を畏れることは知識のはじめである

יראת יהוה ראשית דעת

(旧約聖書「箴言」第1章7節より)

ステンドグラス ①

「光あれ」(関キャンパス・グレースホール東壁)

旧約聖書・創世記1章3節の言葉。ガラスの7つの窓は天地創造が7日で行われたという記述に通じます。大学で創造的に生きる学生、教職員の上に神の光が豊かに注がれるように、光の中を歩む人間であるようにという願いが込められています。

「慈愛」(関キャンパス・グレースホール西壁) ⑨

母マリアがイエスを抱いている姿を現しているように見えます。母から子に向けられる愛を表現し、すべての人間に通じる「人間愛」を伝えています。母親の腰のあたりから大きくS字のラインが流れ、岐阜済美学院のイニシャル、S字に流れる清流・長良川を表しています。

「新生」(各務原キャンパス・グロリアホール) ⑥

各務原キャンパスが岐阜大学農学部跡地に建てられたことを記念し、自然との共生を表現しています。稲穂は謙虚という教育目標を、たわわに実ったぶどうは「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である」(新約聖書・ヨハネによる福音書15章5節)とのキリストの言葉を表現しています。

カリヨン

関キャンパス本館棟の鐘楼で、朝と夕方(9時と17時)に時を告げています。オランダから輸入されたもので、1997(平成5)年に本館棟が新築された際、故片桐孝名譽理事長が寄贈しました。キャンパスの象徴として、学生や地域の方々にも末永く親しんでもらえるようにという思いが込められています。また、東日本大震災後、2012年から毎年3月11日の地震発生時刻に追悼の祈りを捧げています。



CCF中部学院大学聖歌隊

2014年度からサークルとして活動をはじめ、現在部員は学生・教職員12人(卒業生含む)。CCFはChristian Choir Fellowshipの略。学内で行われているチャペルアワーや近隣の協会で奉仕しています。賛美歌に親しむと共に、キリスト教への理解を深めています。



学生による地域貢献事業

経営学部 JAめぐみの コープぎふと連携 新ビジネスモデルを提案

「JAめぐみとコープぎふとの連携による新ビジネスモデルの研究」を進めてきました。農協と生協と銀行、学生による共同研究は全国的にも珍しい取り組み。研究のねらいは中立的立場から、生産者であるJAめぐみと、小売業を展開するコープぎふをつなぎ、両者にとってWin-Winとなる事業計画を提案することです。報告会では、5グループが架空の企業を立ち上げ、地元で取れるイチゴやゆずを使ったシフォンケーキなど開発した商品や、販売促進ツールを発表しました。安藤信雄教授は「商品開発を通じて、2つの協同組合の連携が進むきっかけになれば」と話しています。



看護リハビリテーション学部 「あしゆび体操タオル」を作成 高齢者の体力向上

めぐみの農業協同組合生活部介護課と看護リハビリテーション学部理学療法学科が連携し、高齢者の健康維持のために「あしゆび体操タオル」を作成しました。この活動は「高齢者の体力向上プログラム」の一環。利用者の皆さんに「あしゆび体操タオル」などを使い、約4カ月間、ロコモ予防の体操を継続してもらいました。西嶋力准教授は「6mの歩行速度改善が見られました。この仕組みを広めていきたい」と手ごたえを感じています。



大 学	人間福祉学部	スポーツ・レクリエーションを通じた「発達につまずきのある子どもたち」の地域デビュー促進事業（岐阜市）
	教育学部	白川村の幼児・児童への保育・学習支援（白川村）
	教育学部	いろんな家族のカチを発信しよう！～地域における児童養護施設と入所児の適切な理解啓発活動の提案～（関市、大野町ほか）
	理学療法学科	高齢者の健康づくりを支援するための体力測定とあしゆび体操の開発と啓発活動 ～中濃地域高齢者を対象とした予防体操の指導を通して～（JAめぐみの管内）
	看護学科	関市地域住民の自殺予防への取り組み ～出張！中部学院大学「心の健康守り隊」～（関市）
	看護学科	地域在住高齢者の老年症候群発症リスク軽減を目指す健康調査事業（各務原市）
	経営学部	JAとコープの連携による新ビジネスモデルの研究（可児市ほか）
	*理学療法学科、看護学科は看護リハビリテーション学部	

短 期 大 学 部	幼児教育学科	郡上市の活性化につながる親子への遊び支援活動
	社会福祉学科	小・中・高の子どもと認知症高齢者の寄り合い所「ふらっとサロン」で地域福祉力UP！
	社会福祉学科	高齢者の誤嚥性肺炎予防に向けた調査・実践・啓発活動 ～誤嚥予防トレーニングと「ケアマッサージで癒され隊」「ワンワンふれあい隊」「メイク＆ネイルでいきいき隊」による介護予防活動～
	社会福祉学科	地域開催「認知症カフェ」の学生参加による、地域高齢者が集う居場所作りの提案

連携している市町村との取り組み（抜粋）

関市のSEKIいきいきフェスタに出展（看護リハビリテーション学部）

SEKIいきいきフェスタでは、看護リハビリテーション学部の学生が参加。理学療法学科は「ロコモを知って予防！おとなの体力測定」というテーマで、タオルを使ったあしゆび体操なども実践しました。看護学科は「測ってみよう！心の疲れ」というテーマで、ストレスとうまく付き合っていく方法を伝えました。



関市民セミナーで学生が市民に介護を実践（人間福祉学部）

関市民セミナー「めざせ！アクティブシニア」講座が後期から開講しました。第3回は「学生の介護を受けてみよう」。人間福祉学部介護支援コース2年生と受講生が「バイタルサインを測ってみよう！」「車いす体験」などを一緒に体験しました。健康体操では、音楽に合わせてタオルを使った体操をしました。



各務原市長とまちづくりミーティング開催（教育学部ほか）

各務原市の浅野健司市長と学生有志による「まちづくりミーティング」があり、「家庭に対する子育て支援」「ウォーキングを通じた健康づくり」などのテーマについて、意見交換しました。また、第4期地域福祉計画（2020～2024年）策定では、人間福祉学部の2名がワーキンググループに参加しています。



美濃加茂市の女性の活躍支援活動に参画（短期大学部幼児教育学科）

短期大学部幼児教育学科の杉山祐子ゼミは、地域連携の一環として、美濃加茂市が進めている「女性が輝くまちをめざして、まち・ひと・しごと創生総合戦略「カミーノ」(Caminho)」プロジェクトなどに参画。カミーノミツケルマルシェでは、わくわくあそび村を出展し、親子がゆったり遊べる場を提供しました。



関市内グループホーム大運動会を企画、運営（短期大学部社会福祉学科）

短期大学部社会福祉学科1年生全員とレクリエーションインストラクターの資格取得を目指す2年生10名が、関市内にあるグループホームが参加する「大運動会」の企画、運営に携わりました。「赤白対抗玉入れ」や「施設対抗ボウリング大会」などの競技があり、会場内は終始にぎやかな雰囲気になりました。



関市の地域住民交流活動の場に学生が参加（社会福祉学科）

「住み慣れた地域での生活を継続するための支援」をテーマに活動している社会福祉学科の土谷彩恵ゼミ。関市田原地区にある「田原みんなのおうち」は民家を活用した地域住民活動の場で、毎月1回開催されています。学生も活動に参加し、地域の皆さんと交流を深めながら、交流の場の意義を考えました。



ぐじょうファミリーフェスタであそびの場を企画（幼児教育学科）

父子を対象にした「ぐじょうファミリーフェスタ」には幼児教育学科の小原優作ゼミの学生が参加して「ハロウィンパーティー」を企画。学生は「こうもりメガネ」「おばけつり」「ハロウィン列車」などあそびのコーナーを準備したり、「エビカニクス」など、親子で触れ合うダンスを演出したりしました。



やまがた健康・介護フェスタで健康チェック（看護リハビリテーション学部）

介護の日に行われた「やまがた健康・介護フェスタ」には看護学科の学生が参加し、健康チェックのお手伝いなどをしました。山県市とは健康づくりや地域福祉の向上などについて相互協力をしてきましたが、今回のフェスタでは、学生が骨健康測定をしたり、健康ポイントを伝えたりしました。



美濃と飛騨のふくし（後期）

- 9/24 オリエンテーション
- 10/ 1 美濃・飛騨に地域特性について
- 10/22 関市の概況と観光
- 10/29 岐阜県がやがや会議
- 11/ 5 関市の観光(刃物産業)
- 11/12 関市の観光(小瀬鶺鴒)
- 特別講義 11/14 鶺鴒実演
- 11/19 関市の観光(自然)
- 11/26 関市の観光(関善光寺)
- 9~12 12/ 8 フィールドワーク
- 12/10 関市の観光(関市の新たなグルメ)
- 12/17 SNS・PR動画作り
- 1/ 7 学生によるプレゼンテーション



特集③ 地域に貢献する大学 —地域との連携—

地域を深く知り、観光の活性化について考える

刃物産業、小瀬鶺鴒、自然、関善光寺、グルメなどの切り口からゲストをお招きして話を聞きましました。そのうち、春日刃物の深川誠さんは、刃物の歴史から現在の刃物産業の状況について紹介。砥石を用いた包丁研ぎも体験し、「関の刃物」を身近に感じました。鶺鴒の足立陽一郎さんは、鶺鴒の歴史や鶺鴒匠としての日々の仕事などについて

「美濃と飛騨のふくし」は地域をもっと知り、地域で活躍できる学生を育てることをテーマに、前期と後期にそれぞれ開講しています。今年度後期の講義では、関市観光協会、関市観光課と連携し、関市の観光活性化について考えました。



関市観光課の方からは、「学生が作成した動画などを活用していきたいので、さらにブラッシュアップしてほしい」など、今後に向けて期待の声もあがりました。

紹介。特別講義として関キャンパスで実演もしていただきました。フィールドワークでは、4つのコースに分かれて、観光ルートを巡りました。撮影したビデオや写真をグループごとに持ち寄り、関市観光地のPR動画やパンフレットの作成に取り掛かりました。プレゼンテーションでは、動画やパワーポイントなどを用い、関市の観光地について学んだこと、感じたこと、アピールポイントなどを発表しました。関市観光協会や関市観光課の方からは、「学生が作成した動画などを活用していきたいので、さらにブラッシュアップしてほしい」など、今後に向けて期待の声もあがりました。

部・クラブ・サークルの地域貢献活動

吹奏楽部



地域に足を運んで地域の方と触れ合う活動を大切にしています。昨年12月、本業市との包括連携協定に基づき、「クリスマスコンサート」を同市で開催しました。地域の皆さんに喜んでいただけることが原動力になっています。

ハンドベルクワイア



地域から依頼をいただき、学内外で幅広く演奏活動を展開しています。昨年11月には関市のわかさ・プラザ学習情報館で行われた「関市青少年育成市民大会」で、「As the Deer」「ミッキーマウスマーチ」など4曲を演奏しました。

手話サークル



毎年、関高校で手話指導を行っています。高校生からは驚きや笑いなど良い反応があり、緊張が和らいでいきます。手話を学ぶ高校生だけでなく、指導する部員も自信が付いたり、「手話が楽しい」と再確認できたりしています。

部・クラブ・サークル紹介

今年度、課外活動で成果を上げた部・クラブ・サークルを順次紹介します。



0からのスタート 剣道部「はじめの一步」

本学剣道部は9月20日に
行われた東海学生剣道優勝
大会において、男子2部団
体優勝を果たしました。大
学の男子団体戦は7人制で



東海学生剣道優勝大会男子2部団体優勝

行われますが、今年度、本学
剣道部の部員数は6名しか
在籍していませんでした。
そのため、決勝戦までの全
6試合で1敗(2本負け)の

のハンデを背負っていま
した。しかし、選手たちは
「チームに一人足りない状
態で試合に出ることは最初
で最後だろう。6人で優勝
することに意味がある」と
気を奮い立たせて大会に臨
みました。



夏季特別強化合宿＝下呂温泉

試合は予想通り、苦しい
展開が続きましたが、3年
生2名、1年生4名の選手
たちは最後まであきらめな
い気持ちを繋ぎ、なんとか
決勝戦まで勝ち進みまし
た。決勝は、大将戦を迎えた
時点で、相手チームにリー
ドを許してしまいましたが、大
将の堀江陸選手(スポーツ
健康科学部1年)が逆転勝
ちを収め、初出場初優勝を
成し遂げました。

剣道部は2017年4月
に発足しました。それまで
は、サークルとして現主将
の町田一選手(教育学部3
年)が中心となり、関キャン

パスにある教室で稽古を
行っていました。教室での
稽古は、足に衝撃を緩和す
るサポーターを付けなけれ
ば到底行うことができませ
んでした。また、稽古相手
がない時は他大学に向
き、稽古をお願いしました。
朝に体育館が使用できると
聞けば、早朝に集まって稽
古を重ねました。決して順
境とはいえない中で、活動

は、剣道が当たり前にでき
いでいきます。
【剣道部】コーチ 坂本太二

おわりに、社会へ人材を
輩出する教育機関として、
競技力の向上だけでなく、
集団としての規律を学び、
個としての自律を促し、自
立した人材の育成に力を注
いでいきます。

ることへの喜びを伝えてく
れました。
昨春には運動学実習棟に
稽古場所を移し、岐阜、大阪、
京都から新入生を迎え、新
体制での活動がスタートし
ました。これまで少人数で
活動していた学生たちにも
団体戦への出場権が与えら
れました。来年度は、7月に
行われる全日本学生剣道選
手権大会への東海予選突
破、1部2部入れ替え戦で
の勝利、全日本学生剣道優
勝大会への出場権獲得を目
標に掲げ、さらなる活動の
充実を図ります。

空手道部

全日本大学選手権 女子団体形初出場

全日本大学空手道選手権が11月、
東京の日本武道館で行われ、空手道
部は女子団体形に初出場しました。
出場したのは、いずれもスポーツ
健康科学部1年の中路陽紗乃選手
(兵庫・夙川学院高校出身)、安川和選
手(おかやま山陽高校出身)、北川空
選手(千葉・秀明八千代高校出身)の3
選手。堂々と演武を披露しました。結
果は15大学中10位でした。



硬式野球部

明治神宮大会に 4年ぶり3度目の出場

東海・北陸・愛知三連盟代表王座決
定戦が10月、浜松市の浜松球場で行
われ、硬式野球部が4年ぶり3度目の
明治神宮大会出場を決めました。
激戦の岐阜学生リーグを3季連続
14度目の優勝を飾り、秋季東海選手
権を経て、同決定戦決勝では皇學館
大を下しました。本戦は11月、東京の
明治神宮野球場で行われ、関西国際
大と対戦しましたが、力及ばず初戦
で涙をのみました。



ゴルフ部

日本学生王座決定戦 円角選手(スポーツ)2位

文部科学大臣杯争奪日本学生ゴル
フ王座決定戦と日本女子学生ゴルフ
王座決定戦が11月、静岡県磐田市の
浜松シーサイドゴルフクラブで行わ
れました。スポーツ健康科学部2年の
円角有希選手が朝日杯争奪日本学生
選手権(10月・千葉カントリークラ
ブ)に続いて2位、同1年の水田竜昇選
手が4位タイ、経営学部3年の中山絹
也選手が6位タイに入りました。



2018年度 学長賞 被表彰者一覧

【区分】1:成績・人格識見 2:研究 3:課外活動 4:ボランティア 5:その他

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
小森 詩織 (人間福祉4年)	1	学業成績優秀で人格識見が特に優れ、手話サークルとして積極的にボランティア活動に取り組んだ
大熊 英敬 (子ども教育4年)	1	学業成績優秀で人格識見が特に優れ、学校行事や市の寺子屋活動に積極的に参加した
吉田 理沙 (理学療法4年)	1	学業成績優秀で人格識見が特に優れている
中村 莉緒 (看護4年)	1	学業成績優秀で人格識見が特に優れている
張 麗麗 (経営4年)	1	学業成績優秀で人格識見が特に優れ、留学生をはじめ学部生の範となった
橋 あぐり (スポーツ健康1年)	3	日本インカレ女子10000m競歩で優勝、学業成績も優秀であり大学行事にも積極的に参加している
ゴルフ部男子	3	全国ゴルフ対抗戦で2位に入賞するなど目覚ましい活躍を見せた
硬式野球部	3	東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦優勝、明治神宮野球大会出場など多くの大会で優秀な成績を収めた

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
吉川 佳乃 (幼児教育2年)	1	学業成績優秀で人格識見特に優れ、学生会副会長としても大いに貢献した
水谷 緑 (社会福祉2年)	1	学業成績優秀で人格識見が特に優れている

2018年度 同窓会長賞 被表彰者一覧

【区分】1:学生会活動 2:大学の名誉・社会貢献 3:スポーツ・文化 4:その他

氏名・学科・学年	区分	推薦事由
CCF中部学院大学聖歌隊	3	チャペルアワー、クリスマス礼拝等で聖歌隊として大いに貢献し、地域の行事にも多数参加している
ハンドベルクワイア	3	入学式・卒業式、大学祭、クリスマス礼拝等の学内行事や地域行事等、学内外で幅広く演奏活動を行っている
手話サークル	2,3	入学式・卒業式、中部手話スピーチコンテスト等での手話通訳、中学・高校での手話指導等で広く貢献した
学生会役員会 浅野 将大 (経営3年) 土洞 絵梨 (子ども教育3年) 井上 澄香 (人間福祉3年) 此島 里菜 (幼児教育2年) 中島 芽生 (幼児教育2年) 山口 あさひ (幼児教育2年) 小宅 遙菜 (理学療法2年) 國嶋 優里 (理学療法2年) 早川 綾乃 (幼児教育2年) 長谷川 萌羽 (幼児教育2年)	1	学生会役員としての役割を果たし、学生会活動の活性化に貢献した
大学祭実行委員会 森島 れい (子ども教育3年) 坂口 敬紀 (人間福祉2年) 高見 真由 (子ども教育2年)	1	大学祭実行委員会役員としての役割を果たし、大学祭等の盛會に貢献した
田口 祥聖 (人間福祉4年)	2	関市消防団学生隊リーダーとして、また関警察署協議会委員、岐阜県警察サイバー防犯ボランティア代表としての各種活動に貢献した
谷口 智夏 (看護4年)	2	看護ボランティア活動に積極的に参加し、大学及び看護学科の広報活動に貢献した
長島 ヒデキ (子ども教育4年)	2	美濃加茂市・各務原市のボランティアおよびインターンシップに積極的に取り組み、小学校校長、教育委員会、教育事務所からの高い評価が寄せられている
グリーンキャンパス隊(教育学部6名) 赤堀 美穂 (子ども教育4年) 中西 里帆 (子ども教育4年) 大西 菜 (子ども教育4年) 高木 実紗希 (子ども教育4年) 山田 奈美 (子ども教育4年) 坂井 妙也子 (子ども教育4年)	2	各務原キャンパスでのグリーンキャンパス活動に能動的に継続して取り組み、他の学生・教職員・地域の方に良い影響を与えた。メンバーは、全員、女子バスケット部に所属しており、文武両道を実現した下級生の良いモデルとなった。
ゴルフ部女子	3	女子学生ゴルフ春季大学対抗戦での優勝をはじめ、多くの大会で優秀な成績を収めた
空手道部	3	創部初年度ながら東海地区大学選手権では男女とも個人形部門で優勝、女子団体形部門で優勝など優秀な成績を収めた

同窓会新評議員の紹介

本年度の卒業生を代表して、同窓会評議員として活躍していただく皆さんです。

大学	短期大学部
●人間福祉学科/常川紗愛	●社会福祉学科/水谷 緑
●子ども教育学科/大熊英敬	●幼児教育学科/打越紫音
●理学療法学科/高木元輝	
●看護学科/影山智帆	
●経営学科/大岡亮介	

講演会など

各界で活躍する先生を講師に招いて講演会や講義を開催しています。シティカレッジ各務原特別講演会は公開講座として親しまれています。

シンガーソングライター新沢としひこ客員教授が講師

子ども未来セミナー「新沢としひこ保育講習会」

「毎日新しい！毎日が誕生日！」

シンガーソングライターで本学客員教授の新沢としひこさんを講師に招いた子ども未来セミナー「新沢としひこ保育講習会」を1月26日、各務原市文化ホールで開催し、県内外の保育関係者や学生ら400人が参加しました。テーマは「毎日新しい！毎日が誕生日！」。ステージでは、新沢さんがピアノやギターを弾き語りを披露。絵本なども映し出され、会場中にメッセージが届けられました。講演会を通じて、「音楽を介して子どもたちをどのように理解したらよいか」ということを考える機会となりました。



第8回市民公開講座

看護リハビリテーション学部

「健やかに生きる」

看護リハビリテーション学部主催の市民公開講座「健やかに生きる」を12月9日、関市総合福祉会館で行い、市民や学生ら約90人が参加しました。講演は、理学療法学科の竹ノ下祐二教授が「ヒトの子どもの健やかな成長に欠かせないものは何か」、看護学科の柏谷恵美子教授が「お母さんになるということ」、同学科の山田小夜子教授が「いまどきの子どもの姿」と題して講演しました。学生からは「人は社会的、経済的サポートが期待できないと子への愛情がわからないことが分かった」などの意見が聞かれました。



シティカレッジ各務原特別講演会

シティカレッジ各務原

慶應義塾大学教授 細田衛士さんが講演

シティカレッジ各務原特別講演会は後期2回開催しました。昨年11月24日は、デザイン活動家でD&DEPARTMENT代表のナガオカケンメイさんが「デザインと作るまち。ロングライフデザインの視点で、その土地らしさについて考える」と題して講演。1月12日は、環境問題の第一人者として知られ、『世界一受けたい授業』に出演した慶應義塾大学経済学部の細田衛士さんが「緑の地球の夜明け～美しい地球を将来世代に残すために～」というテーマで講演し、どのように豊かな自然環境を次世代に残せるかを考えました。



トピックス

各学部学科や部活動では、さまざまな研究発表や課外活動を繰り広げ、積極的に活動しています。

教育フォーラム2018開催 「小学校英語」について考える

2020年度の新学習指導要領全面実施を控え、小学校における英語教育のあり方を探ろうと、教育フォーラム2018を2月9日、各務原キャンパスで行いました。テーマは「今だからこそすべきことがある!!小学校英語」。東京学芸大学教授の粕谷恭子さんの講演に続き、教育学部が連携している協力校の実践発表がありました。パネルディスカッションでは、小学校英語教育に定評があり、全国で講演や研修講師として活躍する久埜百合さん(学事顧問)、文部科学省初等中等教育局の山田誠志さん、岐阜大学教育学部の異徹さん、本学教育学部の服部吉彦さんがパネリストを、同教育学部の新井謙司さんがコーディネーターを務めました。



卒業生キャリアフォーラム開催 仕事観や体験談を聞く

キャリア支援科目「仕事と人生」の一環で、大学3年生と短期大学部1年生を対象にした「卒業生キャリアフォーラム」を12月17日に開催し、卒業生から仕事観や体験談を聞きました。今回のテーマは、「一人ひとりが『なりたい自分』に向け未来設計図を描こう」。卒業生計9人が登壇しました。勤務先は保育園や幼稚園、福祉施設、一般企業など多岐にわたります。勤続年数が10年ほど経ち、中堅として活躍している卒業生から、昨年度卒業したばかりで入社1年目のルーキーまで、幅広い年代、職種の先輩たちが、それぞれの立場から、仕事のやりがいや就職活動での体験談について、後輩たちに伝えました。



中部手話スピーチコンテスト開催 聴者と聴覚障がい者の共生を図る

中部手話スピーチコンテストを11月17日、各務原キャンパスで開催しました。手話の普及と聴覚障がい者福祉の推進を図ることを目的に毎年開催していて、今年度は27回目。手話スピーチ部門に8名、手話朗読部門に4団体が出場しました。また、映像作家や俳優として活躍している馬場博史さんが講演しました。



長良川鉄道あそびスター NAGARAハロウィントレイン 子どもたちとさまざまな「あそび」を体験

毎年、長良川鉄道と短期大学部幼児教育学科と開催している「長良川鉄道あそびスター NAGARAトレイン」。今年度は豪雨災害の影響で7月の七夕トレインが延期され、10月21日に「ハロウィントレイン」として企画し、初めて走行しました。車内では、学生が手遊びを披露したり、一緒にうちわ作りを体験したりしました。



2019年度 年間行事予定

- 入学式 関市文化会館 4/3(水)
- 前期授業開始 4/8(日)
- 開学記念日 5/14(火)
- スポーツ大会 5/25(土)
- 後援会総会・保護者懇談会 関各務原 6/1(土)
- 前期定期試験 7/29(月)～8/2(金)
- 後期授業開始 9/24(火)
- 大学祭・たのしみ祭 ホームカミングデー 10/19(土)
- 学びの森フェスティバル 各務原 11/3(日)
- 中部手話スピーチコンテスト 各務原 11/16(土)
- プロムナードコンサート 各務原市民会館 12/7(土)
- クリスマス礼拝・祝会 12/19(木)
- 年内授業最終日 12/26(木)
- 年始授業開始日 1/6(月)
- 大学入試センター試験 1/18(土)・19(日)
- 後期定期試験 1/27(月)～1/31(金)
- 卒業礼拝・卒業式リハーサル 3/19(木)
- 卒業式 長良川国際会議場 3/20(金)
- 健康診断 在学生 3/27(金)

(※) 詳細は各学部・学科のホームページをご覧ください。



中部学院大学 大学院 / 大学 / 短期大学部

Chubu Gakuin University & College

[関 キャンパス] 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211
[各務原キャンパス] 〒504-0837 岐阜県各務原市那加甥田町30-1 TEL 058-375-3600

[大 学 院] ◆人間福祉学研究科 修士課程 博士課程(後期)

[大 学] ◆人間福祉学部 人間福祉学科(社会福祉コース/精神保健福祉コース/介護支援コース/地域貢献コース)
通信教育部 ◆教育学部 子ども教育学科(小学校・中学校教諭コース*1/幼稚園・保育士コース*1) ◆看護リハビリ
テーション学部 理学療法学科 看護学科 ◆スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科(スポーツ健康コース/障がい者
スポーツコース/スポーツ経営コース) ◆経営学部 経営学科(企業マネジメントコース/まちづくり地域人養成コース
/スポーツマネジメントコース/職業会計人コース)*2

[短期大学部] ◆幼児教育学科(乳幼児保育コース/障がい児保育コース/子ども家庭支援コース) ◆社会福祉学科(介護
福祉コース/美・デザインコース/医療事務コース*1)

*1 2019年4月より開設 *2 2017年4月より募集停止 ※コースは変更する場合あり